

校長室から

校長 武田 幹弘

もう6月も終わりを迎えようとしています。1年生は入学から、2・3年生は進級から、早くも12週間が経ちました。1年間は52週間ですので、3年生が家庭学習期間に入る1月29日までは残り約32週間です。これから夏休みや冬休みなどの8週間を除くと、実際に学校で過ごす時間は、残りわずか24週間しかありません。1・2年生も、2月・3月の7週間を加えたところで、残りは31週間です。このように、1年間はあっという間に過ぎ去っていきます。与えられた時間はすべての人に平等ですが、その時間をどう使うかが、皆さんの未来を大きく左右します。

これから社会に出ていく皆さんが、今最も求められているのは「前に踏み出す力（アクション）」です。学校の勉強には「一つの正解」があるものが多いですが、実社会では正解が決まっていらないケースがほとんどです。だからこそ、正解が分からない中でも失敗を恐れずに一歩を踏み出す勇氣が必要になります。たとえ失敗したとしても、周囲の協力を得ながら試行錯誤を繰り返し、粘り強く取り組むこと。そのプロセス自体に大きな価値があります。

学校には、この力を磨くチャンスがたくさん用意されています。もう少しまで迫った学校祭、課題研究や総合的な探究の時間などの授業、そして同じ目標に向かって汗を流す部活動などです。今後、限られた時間をどう積み重ねていくかは、皆さんの将来にとって非常に重要です。目の前にある貴重な時間とチャンスを主体的に活かし、自らの成長へとつなげてくれることを期待しています。

6月のトピックス

北北海道学校農業クラブ実績発表大会 6月10日(水)～6月11日(木)

新十津川高校で行われた北北海道学校農業クラブ実績発表大会に9名の生徒が出場しました。発表題目、出場生徒は以下のとおりです。

【分野Ⅰ類】

「ドローンを使った湛水直播～2年目の取り組み～」園芸分会

出場生徒：3年 高橋 佳暉 吉田 悠人 藤田 修平

【分野Ⅲ類】

「羊肉を身近に～羊肉まんて地域活性化」乳肉加工分会

出場生徒：3年 対馬 凧咲 小森 美依那 山野 莉玖

【クラブ発表】

「援農・緑農・炎農～地域と共に進む農業クラブ～」農生会執行部

出場生徒：3年 須田 晃生 2年 井上 咲良 三地澤 桜暉

出場した生徒は、大会に向けて日々準備や練習を重ねてきました。その努力が本番での自信や堂々とした姿につながったと思います。結果は、惜しくも入賞出来ませんでした。経験になったと思います。



北北海道農業クラブ意見発表大会 6月24日(水)～6月25日(木)

剣淵高校で行われた北北海道意見発表大会に出場しました。この大会は、農業高校生が農業に関する意見や考えを発表する大会です。参加した生徒たちは、緊張しながらもそれぞれのテーマについて熱心に取り組み、堂々と発表していました。他の参加者の発表も興味深く、刺激を受ける場となりました。

結果として入賞はできませんでしたが、発表を通じて学ぶことが多く大会となりました。



7月の行事予定

7/1 (水)	求人票公開日	7/24 (金)～28 (火)	農業視察研修 (3学年)
7/2 (木)	インターンシップ報告会	7/24 (金)～8/16 (日)	夏季休業
7/4 (土)	第一回日本農業技術検定	8/6 (木)～8/7 (金)	全道技術競技大会
7/11 (土)	学校祭	8/16 (日)	開寮・開所
7/23 (木)	全校集会 閉寮・閉所	8/17 (月)	全校集会

各種SNSで情報発信中！

